

西日本でも屈指の海水浴場へのアクセス道路として周辺の自然公園と一体的な整備、都市環境の向上と利用者の快適性、市民の憩いの場、歩道にはインターロッキング舗装。



山口県の光市は、周南工業地帯の中心にあり、新興工業都市として着実な歩みを続けているが、一方では、中国地方随一の海水浴場として有名である室積・虹ヶ浜海岸を有している。これは、室積湾を抱くように南に伸

びる峨眉山一帯の北に連なる白砂青松の海岸で、瀬戸内海国立公園特別指定区域になっており、県内はもとより県外からの海水浴客も多く、年間八〇万人もの人々に利用されている。
この「なぎさへの道」は光市アメリティ・タウン構想の一環として、すでに供用された街路をJR西日本光駅から虹ヶ浜海岸へのアクセス道路と位置づけ、周辺の自然公園と一体的に整備を行ったものであり、市民の憩いの場、四季を通じてのコミュニティの場となるよう「潤い」や「やすらぎ」などを主眼に都市景観やゆとり特に配慮している。

データボード②⑥

- ① 山口県光市虹ヶ浜
- ② 光市役所 ☎0833-72-1400
- ③ 延長310m、幅員20m（車道9m、歩道5.5m×2）
- ④ 車道：アスファルト舗装 歩道：インターロッキング、タイル舗装